



長野県林業総合センター - 塩尻市片丘 5739
 Nagano-prefectural Forestry Research Center
 TEL 0263-52-0600 FAX 0263-51-1311

みどりのサクラ

キ-ワ-ド:サクラ、園芸品種、ギョイコウ

街の中でサクラが咲き始めると、林業総合センターにもサクラに関する問い合わせがたくさん寄せられるようになってきます。中でも「みどりのサクラ」についての問い合わせが多く寄せられますので、簡単に紹介します。

サクラの色は

「桜色」は「桜の花のよううすいピンク」のことを示しています（日本の伝統色）。お花見を行うサクラの名所にはたいいてい淡いピンクの花を咲かせる「ソメイヨシノ（染井吉野）」が見られますので、サクラの花をイメージすると「うすいピンク色」を思い浮かべる方が多いかと思えます。

とはいえ、サクラの花の色は、どれもうすいピンク色というわけではありません。オオヤマザクラは赤みが強く、オオシマザクラは白い花です。



ソメイヨシノ（染井吉野）



ギョイコウ（御衣黄）

みどりのサクラ

サクラは、平安時代から人々広く親しまれており、数多くの品種が作られてきました。サクラの品種は現在正確には数えられませんが、わかっているだけで300種類を超えています。こうした中には変わった色のサクラもみられます。

この一つが、花の色が淡緑色になる「みどりのサクラ」として知られる「ギョイコウ（御衣黄）」です。ギョイコウは、江戸時代中期から知られるようになりましたが、その由来はわかりません。葉の形などからオオシマザクラの特徴が強い栽培品種と考えられていますが、オオシマザクラやヤマザクラの野生種にはこれまで緑色の花が出現したという記録が無く、どうし

てこのような色のサクラが生まれたのかは謎に包まれたままです。

いつ頃咲くのか？

林業総合センターでは、4月15日頃にコヒガンザクラが咲き始め、少し遅れてソメイヨシノが咲いてきます。

林業総合センターにおけるソメイヨシノの開花日は、松本城など松本市内に比べておおむね1週間くらい遅いのが通常です。

ソメイヨシノが咲き終わる4月下旬になって山に自生しているカスミザクラが咲き始めます。

ギョイコウの花が開きはじめるのはそれからです。ソメイヨシノが散って葉桜に変わり、5月に入る頃にやっと咲き始めます。

平年ですとギョイコウは、連休の後半から翌週にかけて見頃を迎えます。

これは松本市内にサクラの開花が伝えられてからだいたい1ヶ月後です。

ギョイコウの花が終わると、山の木々はみどりに染まり、一気に初夏へと季節が変化していきます。



平年では5月10日頃に満開をむかえる
林業総合センターのギョイコウ



5月上中旬にはギョイコウをはじめ
多くの栽培品種が咲きます。

サクラは、地面の浅いところに根を張ります。
このため木の周辺を人間が踏みつけると、土が硬くなって根が衰弱し、木が枯れてしまうこともあります。
サクラは、少し離れたところで楽しみましょう。

担当者 育林部 小山泰弘